

特集企画

「自然災害に対する取り組み」

徳島県総合型地域 スポーツクラブ連絡協議会 ＜徳島県＞

いつ、どこで発生するか分からない自然災害に対し、準備や対策ができるか、また災害発生地域に対し、どのような支援ができるかを考えることは、地域の諸課題解決に向けた取り組みとなり、より地域に根差したクラブとして定着することにつながる可能性があります。

そこで、今回は、自然災害の発生に対して、連絡協議会が実施した防災対策や被災地支援等の取り組みを紹介します。



1 連絡協議会の概要

徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（以下連絡協議会）は、総合型クラブ間における情報交換や交流の活性化を図り、徳島県の生涯スポーツの推進を図ることを目的としています。設立当初から県内すべての総合型クラブが加盟しており、現在35クラブが加盟し、総会員は約9000人です。

主な活動は、次のとおりです。



事業名	事業概要
総合型クラブ交流等助成事業	総合型クラブが交流を目的に開催する事業に対して助成
研修会開催事業	総合型クラブの資質向上や課題解決につながる内容の研修会を年1回開催
顕彰事業	功労者・優良団体・貢献団体・スポーツボランティアの4種類の表彰を実施
総合型クラブ交流大会in徳島開催事業	ソフトバレーボール交流大会を県域を越えた参加者を募り開催
絆プロジェクト	被災地支援活動として実施

2 被災地のニーズ考慮、他団体と連携し各種支援を実施

2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、想像をはるかに超えた甚大な被害を目の当たりにし、連絡協議会として、何ができるのかを真剣に考え、次のようなアクションを始めました。アクションを起こすにあたり、徳島県連絡協議会としてできること、他団体との連携でできること、現地で必要とされている支援は何かーなどを考慮し支援を実施しました。

● 「リユースうちわ」を送付

東日本大震災時に県内の連絡協議会加盟クラブに呼びかけ、「リユースうちわ」を7000本収集し、東北3県(岩手県・宮城県・福島県)の広域スポーツセンターへ震災4カ月後の7月に一括送付しました。避難場所等で暑い夏を過ごす被災者に配慮し、各家庭から集めやすくクラブ負担も少なく済むうちに決めました。

また、2017年7月に発生した九州北部豪雨被害の際は、福岡県朝倉郡東峰村役場宝珠山庁舎にリユースうちわ200本や書籍などを贈りました。

● お手玉も寄贈

仮設住宅では運動不足になりがちで、運動による交流促進のためにも、徳島県婦人団体連合会と連携して、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田市米崎中学校仮設住宅自治会宛てにお手玉を8月に350個送付しました。また、連絡協議会の加盟団体である勝浦町のNPO法人K-Friendsと連携し、勝浦お手玉演舞の会に協力を依頼して、お手玉演舞(童謡や民謡に合わせてお手玉をしながら舞うもの)のDVD映像を作成し同仮設住宅に送付しました。お手玉実践の手助けになると考え、映像を作成しました。

● 防災フォーラムの開催

連絡協議会事務局が調整の上、県社会福祉協議会助成事業を活用し、岩手県陸前高田市米崎中学校仮設住宅自治会の金野廣悦自治会長を招聘(しょうへい)したフォーラム・研修会を、県内3クラブが主体となって3年間継続して実施しました。参加者は平成26年度が約200人、27年度が約100人、28年度は約450人でした。

● 被災地に徳島特産物「すだち」を贈る

連絡協議会と連携が密な「えがお+for kids sports」と協力し、平成24年度から岩手県陸前高田市米崎中学校仮設住宅自治会に毎年継続して徳島の特産物「すだち」を約400個贈っています。昨年は熊本地震が発生したことから、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会にも200個贈りました。

徳島の特産物すだちを被災者に食べてほしいと思っていましたが、なかなか着手できませんでした。そんな時に、総合型地域スポーツクラブの活動を支援してくれている、「えがお+for kids sports」のメンバーから、「収穫時期を逸したすだちは放置できないが、収穫するための人手がないので収穫してくれるなら提供する」という申し出がありました。子どもたちと共にすだち狩りを楽しみ、震災について考える取り組みも兼ねてすだち狩りを行い、送付することができました。

● リサイクルバザーで義援金を寄付

平成25年度から毎年継続して、総合型地域スポーツクラブ交流大会in徳島の開催時にリサイクルバザーを実施し、その売上金の一部を日本赤十字社に義援金として寄付をしています。

● 「熊本に想いを届けよう」プロジェクトの実施

連絡協議会加盟クラブであるNARUTO総合型スポーツクラブが熊本県への支援活動を始めたことをきっかけに本連絡協議会のプロジェクトとして、①お菓子付きメッセージカードの作成 ②「リユースうちわ」の収集 ③すだちの収穫 ④各総合型クラブにて支援金の募集を行い、熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて熊本県内の総合型クラブへ配布しました。

また、総合型地域スポーツクラブ交流大会in徳島2017において、NPO法人桜木ふれあいスポーツクラブ(熊本県)のチームを招待しました。

3

「あの日を学ぶ交流の輪」事業を今夏実施

熊本の被災小中学生を招き、学びと交流を目的に交流事業を実施

連絡協議会は、微力ではありますが被災地とのつながりを大切にし、できることを行ってきました。また、NARUTO総合型スポーツクラブが熊本県に対して積極的な支援活動を行っています。こうした流れもあり、「近い未来、徳島に起こりうる南海トラフ巨大地震に備え、徳島の子どもたちに学びと交流の機会を創りたい」(NARUTO総合型スポーツクラブ 山本クラブマネジャー)という思いから、本事業に着手することになりました。

連絡協議会が主催、NARUTO総合型スポーツクラブが主管となり、関係機関との調整、会場確保やスケジュール等の事業計画、財源確保等の取り組みを進めました。この過程で複数の団体との連絡調整がうまくいかず、明確な役割分担ができないという事態に陥りましたが、山本クラブマネジャーのリーダーシップと行動力で事業をやり遂げることができました。何よりも、子どもたちの交流の輪を広げたいとの強い思いがあったからこそ、苦勞を感じることはありませんでした。



《 あの日を学ぶ交流の輪事業 概要 》

期 間 平成29年8月11日(金)～14日(月)

場 所 徳島県鳴門市 鳴門・大塚スポーツパークアミノバリューホール他

参加者 (1)事業参加者 熊本県28名(小中学生21名 スタッフ7名)
徳島県54名(小中学生25名 スタッフ29名)
宮城県 3名(大学生2名 講師1名)

(2)研修会参加者 43名

開催趣旨 日本各地で相次ぐ地震、集中豪雨など自然災害に効果的に対応するため、今こそ真の連携・協働の実現が求められています。

そこで、昨年4月の熊本地震で被災した熊本県の小中学生を徳島市に招き、徳島県内の小中学生と防災について考える「防災合宿」を初めて実施しました。被災経験者と直に交流することで、子どもたちの防災への意識が高まり、将来発生が予測される災害時には何が大切なのかを学ぶことができました。

開催内容 【8月11日(金)】

熊本県から来県した21名の子どもたちは、早速、鳴西連と合流し、阿波踊りを練習し、鳴門市内の栈敷(演舞場)に流れ込みました。

【8月12日(土)】

徳島県から参加の25名の子どもたちと合流し、一緒にレクリエーションゲームやスポーツリバーシなどを楽しみ交流を深めました。午後から子どもたちは、鳴門市黒崎地区の住民の方と昼食をとりながら、東日本大震災を経験した大学生の経験談を元に意見交換をしました。

また、同時進行で「あの日に学ぶ研修会」を開催し、齋藤久允さん(熊本県:ひかわスポーツクラブ)と萬代好伸さん(宮城県:(公社)みらいサポート石巻)を講師に、被災の状況や被災後の復興に向けた活動など現地の辛苦を知ることによって多くを学びました。夜は、徳島市内の阿波踊りを見学し、阿波踊り通じて徳島の文化にふれました。

【8月13日(日)】

「子どもフォーラム」と題してダッシュ隊徳島が進行を務め、被災時の映像や写真を見たり、被災者の体験談を聞いたりした後、グループで被災を想定した対応の仕方を考え発表しました。フォーラム後は、バーベキューパーティーで交流最後の夜を楽しみました。

【8月14日(月)】

熊本へ帰る日の朝、子どもたちは一緒に遊んだり、ダンスをしたりして、限られた時間を楽しみました。



阿波踊り体験



スポーツ交流



子どもフォーラム



子どもフォーラム



バーベキュー

4

被災体験者との交流の輪が促進 防災・支援活動への意識高まる

山本クラブマネジャーの想いに耳を傾けて今回の事業を遂行したことにより、「子どもの交流の輪づくり」と「県域を越えた総合型地域スポーツクラブ間の交流の促進」にもつながった有意義な取り組みとなりました。

事業実施後、徳島の子どもたちの中から「熊本の子とラインで連絡取り合っているよ」「家族で防災グッズを見直したよ」などの声が聞こえてきます。また研修会参加者へのアンケートでは、「講師の『支援に感謝しつつ、自律していくことが大切』という、この想いに心が揺れました」「復興支援の軌跡の取り組みから、クラブの力が、子どもたちの被災を受けた心身の助けになっていることに感謝したい」「自分の命は自分で守り、災害を語り継ぐ必要性を再認識させていただいた」「スポーツクラブとして支援活動を継続していることがすごい。自分たちのクラブでも検討していきたい」などの意見があり、今なお学びがつながっています。

5

活動が課題解決に有効—再認識 経験生かし基本目標を推進

本事業の実施を通じて、「被災地支援」「子どもの健全育成」「関係機関との連携促進」「交流人口の促進」などの社会課題の解決に、総合型地域スポーツクラブの活動が有効であることを再認識しました。また、行政支援が行き届かない場面に際し直接的、かつタイムリーに行動できる力があることも再確認できました。

連絡協議会では、本年度より徳島県スポーツ推進計画の諸施策の展開を支援するために「スポーツウエーブプラン」を推進していきます。

本事業の経験を生かして、4つの基本目標の一つとして、「ボンドスポーツ(スポーツを通じた“絆”づくりの推進)」を掲げています。

県内クラブが連携を深め、県域を越えたクラブと交流し、スポーツを通じたつながりと「お互いさま」によるネットワークづくりができる団体になれるようチャレンジしていきます。

徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局 西村知泰
徳島県 県民環境部 県民スポーツ課(徳島県広域スポーツセンター担当) 係長

スポーツウェブプラン骨子

【基本目標】

ハートフルスポーツ【スポーツを通じた「心の豊かさ」づくりの推進】

スマイルスポーツ【スポーツを通じた「えがお」づくりの推進】

ボンドスポーツ【スポーツを通じた「絆」づくりの推進】

アタッチメントスポーツ【スポーツを通じた「郷土への愛着」づくりの推進】

【今後の取り組みの視点】

子どもの笑顔を育みます。

社会課題の解決にスポーツを通じたアプローチをします。

ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。

総合型地域スポーツクラブの質的充実に取り組みます。

連絡協議会プロフィール

設立年月日 平成21年3月17日

所在地 徳島県鳴門市

運営 加盟クラブ数35(平成29年10月現在) 予算規模602,000円(平成29年度)

特徴 本連絡協議会は、運営委員会で事業を推進しており、女性の委員が多く、その女性委員のソフトで繊細な心配りと笑顔が、加盟クラブの交流を深めるとともに、事業の円滑化を図っている。

また、事務局は広域スポーツセンターが務め、センター運営は、(一財)徳島県スポーツ振興財団と県民スポーツ課が担っており、官民一体となって総合型地域スポーツクラブ活動を支援している。

連絡先 〒772-0017 徳島県鳴門市撫養町立岩字四枚61番地
鳴門・大塚スポーツパーク 徳島県広域スポーツセンター内
TEL: 088-685-4021 FAX: 088-685-4022
E-Mail kouiki@awa-spo.net